学校番号	1101

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の音楽Ⅰ　（教育芸術社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・器楽・歌唱「演奏すること」、作曲「音楽をつくること」、鑑賞「音楽を聴くこと」の３つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートの提出や実技テストで評価します。
・音楽の学習は、仲間とともに実際に演奏し、試していくことで価値がうまれ、感性豊かになります。
・音楽が日々の学校活動や、生涯に渡って心の支えや励ましとなり、生きる力になることを願います。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

【知識及び技能】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深め、音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。

【思考力、判断力、表現力等】
音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもって、音楽のよさや美しさを味わって聴いたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】
音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的、歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深める ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技術を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連知覚し、それらの働きを感受しながら、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図ともっている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	はじめに	【鑑賞】 ・オリエンテーション 校歌・教科書を鑑賞し「音楽1」の学習イメージをもつ	a:イメージをもって学習に主体的に取りくもうとしている。表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:主体的に課題に取り組むことができる。	演奏の聴取	演奏の聞取	ワークシート
	リコーダーアンサンブルに挑戦	【器楽】 エレクトニカル・パレード	a:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:楽譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。 C:主体的に課題に取り組むことができる。	演奏の聴取	演奏の聴取	ワークシート
	鑑賞	【鑑賞】 バレエ音楽　ボレロ(ラヴェル)	a:管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴を表現上の効果との関わりに関心をもつ。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、良さや美しさを創造的に味わって聴いている。 C：主体的に課題に取り組むことができる。	演奏の聴取	演奏の聴取	ワークシート

後期	日本語の美しい語感を生かして表現しよう	【歌唱】 この道	a:「この道」の曲想や歌詞が表わす情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心をもち、イメージをもって歌うことができる。 音楽表現するために必要な発声、日本語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている b:「この道」のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 C: 学習に主体的に取り組もうとしている。	演奏の聴取	演奏の聴取	ワークシート
	ハーモニーを味わおう	アメイジング グレイス	a: 曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能(発声・言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方)を身に付け、協力し合い創造的に表わしている。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、合唱をする学習に主体的に取り組もうとしている。	演奏の聴取	演奏の聴取	ワークシート
	箏に親しみ、ソルフェージュや作曲に挑戦しよう	【器楽】 箏に親しむ 【創作】 さくらさくら変奏曲	a:箏の音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する箏の音色や奏法の特徴を生かした技能を身につけ、創造的に表現している。また、箏の読譜を正しく理解し、楽譜に表わすことができる。 b:音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:学習に主体的に取り組んでいる。			

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度